

第6回
公共施設のあり方検討委員会
—明日のいなざわが輝くために—



平成24年10月4日
稲 沢 市



0

本日の議題



1

本日の議題

- ① 改革の目玉
- ② 支所・市民センター等の見直し案
- ③ 高齢者及び児童福祉施設の見直し案
- ④ 文化施設の見直し案
- ⑤ 生涯学習施設の見直し案
- ⑥ スポーツ施設の見直し案
- ⑦ 学校教育施設等の見直し案



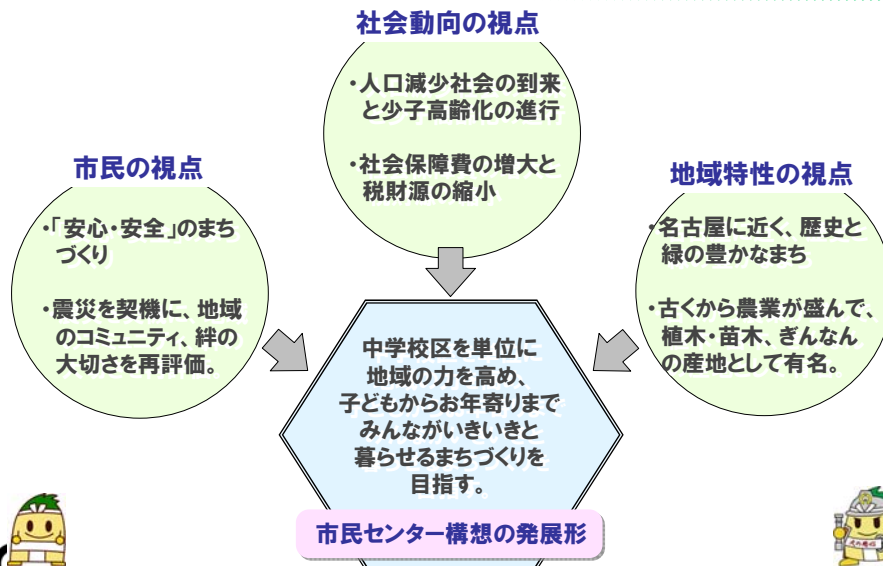
2

改革の方向性



3

改革のコンセプト



改革の目玉



改革の目玉

- ① 子育て支援の強化
- ② こども屋内遊園地を開設
～いなっピーランド・プロジェクト～
- ③ 小中一貫教育の導入
- ④ 福祉とボランティアの拠点を整備
- ⑤ 元気な高齢者を応援
～市民ふれあい農園、回想法の導入～
- ⑥ オリンピック選手との交流
- ⑦ 市民窓口の休日開庁



6

子育て支援の強化

保育園再編の代替策として、
子育て支援をさらに充実強化していく方向で検討する。

【強化策】

- ① 子育て支援センターの再編整備（2か所 ⇒ 4か所）
- ② 休日保育の実施
- ③ 特別保育の拡充



7

オリンピック選手との交流

- ・西島運動広場を人工芝の多目的競技場として再整備し、ソニーHCのオリンピック選手との交流の場としても活用する。
- ・ホッケー体験教室の開催などを通して、オリンピック選手と市民との交流を図り、競技の普及とスポーツの振興に寄与していく。

ソニーHC BRAVIA Ladies

・歴史と戦績

- 昭和55年 創部
- 平成16年 アテネオリンピック出場
(7名の選手を輩出)
- 20年 北京オリンピック出場
(4名の選手を輩出)
- 21年 本拠地を一宮市から稲沢市に移転
- 22年 史上初の4年連続3冠を達成
- 24年 ロンドンオリンピック出場
(コーチ及び8名の選手を輩出)



8

各施設の見直し案



9

支所



10

平和支所（1）

現状と課題

- ・昭和52年建設。3階建。耐震未改修で、概算の工事費用は1億円。
- ・職員数は、正規12名、臨時7名。
- ・窓口で取り扱う事務の内容が多いが、年間数件しかない事務もいくつかあり、対応に手間取ることがある。
- ・現金収納を行っているため、安全管理の面で心配な部分がある。
取扱件数は年間4,800件。
- ・年間借地料 3,008千円



11

平和支所（2）

見直し案

・平和支所については、

①業務量の縮小、②施設の老朽化、③空調など設備の効率が悪い、

④市の耐震基準を満たしていない、⑤バリアフリー化されていないこと

などを総合的に勘案し、平和町農村環境改善センターへ**移転**する方向で検討する。

・移転に併せて、平和支所を「**平和市民センター**」とし、住民サービスの提供メニューを他の市民センターに合わせていく。

・支所内にある土地改良部門の事務室とポンプ場及び排水機場の遠方監視システムも、併せて改善センター内に移設する。

・跡地については、法立、三宅、六輪保育園を統合した新たな保育園「平和保育園(仮称)」を**新設**する方向で検討する。



・人件費、庁舎管理費の削減により、年間**7,800万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



12

市民センター・
公民館



13

千代田市民センター・千代田公民館

現状と課題

- ・昭和54年建設。耐震性診断未実施。職員数は、正規3名、臨時1名、計4名。
- ・会議室等の稼働率は6割程度。
- ・駐車場の台数が少ないので、満車の時は近隣の千代田プールの駐車場に止めていただくよう、お願いしている。

見直し案

- ・耐震診断を実施し、必要な改修を行った上で存置する。



14

大里西市民センター・大里西公民館

現状と課題

- ・昭和47年建設。耐震診断未実施。職員数は、正規3名、臨時2名、計5名。
- ・会議室等の稼働率は6割程度。
- ・平成23年にまちづくり30周年を記念して、マスコットキャラクター「サトピー」を公募の上、決定。まちづくり啓発の一翼を担っている。
- ・年間借地料 1,614千円

見直し案

- ・耐震診断を実施し、必要な改修を行った上で存置する。



15

大里東市民センター・大里東公民館

現状と課題

- ・昭和63年建設。大里東老人福祉センターつつじ館、大里東チューリップ児童センターとの複合施設。耐震性有り。職員数は、正規3名、臨時2名、計5名。
- ・会議室等の稼働率は6割程度。
- ・駐車場の台数は29台分。老人福祉センターの来館者の多い午前中は満車になることが多く、隣接する農協の駐車場の利用をお願いすることもある。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



16

下津市民センター・下津公民館

現状と課題

- ・平成14年建設。下津老人福祉センターくすのき館、下津クローバー児童センターとの複合施設。耐震性有り。職員数は、正規3名、臨時2名、計5名。
- ・会議室等の稼働率は5割程度。
- ・駐車場の台数は35台分。児童センターのイベント開催時は満車になることが多く、その際は一時的に、グラウンド内に車両を誘導している。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



17

高齢者福祉施設



18

平和らくらくプラザ（1）

現状と課題

- 平成14年建設。耐震性有り。お風呂、プール、トレーニング室、娯楽室、会議室を備えた福祉施設で、さくら児童館、子育て支援センター、保健センター平和支所、稲沢市社会福祉協議会平和支所を併設。民間事業者に指定管理委託。
- お風呂の利用は、1日平均300人。プールの利用は、1日平均100人。トレーニング室の利用は、1日平均35人。
- 施設の規模が大きく、さらに温水浴施設であることから、毎年1億円以上のランニングコストがかかっている。
- バーディプールの利用者1人1回当たりの経費
1,310円 ※利用料金(1回 400円)を除く。
- 年間借地料
4,570千円



19

平和らくらくプラザ（2）

見直し案

- ・平和らくらくプラザについては、
 - ①年間1億円以上のランニングコストを要する割には、利用者が固定化されており、市民に広く親しまれる施設となっていないこと、
 - ②入居する行政機関がそれぞれで機能しており、「世代間の交流」という建設時のコンセプトが十分に活かされていないこと、などを勘案し、施設のリニューアルを検討する。
- ・新たな施設展開として、こども屋内遊園地の開設（「いなツピーランド・プロジェクト」）を提案する。
- ・リニューアルに伴い、トレーニング室とお風呂は**存置**し、子育て支援センター及び稲沢市社会福祉協議会平和支所は新設の「福祉の拠点（仮称）」に**移転**し、平和さくら児童館は新設の「平和小学校（仮称）」に**併設移転**し、保健センター平和支所は同センター祖父江支所へ**統合**する方向で検討する。



20

祖父江ふれあいの郷

現状と課題

- ・昭和46年建設。耐震性有り。県老人ホーム木曾川荘の建物部分を祖父江町が譲り受け、平成16～17年度に改修し、天然温泉のお風呂を増築した。改修によって全体の内装はきれいになっているが、給排水などの根幹部分は建設当時のままのため、今後も修繕していく必要がある。
- ・民間事業者指定管理委託。
- ・お風呂の利用は、1日平均で平日500人、土日は630人。
- ・高齢者デイサービスは介護認定非該当の方を対象としているため、登録者は近隣の方21名に止まる。
- ・障害者デイサービスの登録者は40名で、市外の方の利用が多い。
- ・年間借地料 544千円

見直し案

- ・現行のまま存置する。



21

シルバー人材センター（1）

シルバー人材センター

- ・昭和34年建設。耐震診断未実施。
- ・元々は稲沢郵便局だった建物を市が譲り受けて、稲沢市民センターとして活用していたが、平成6年に市民センターが移転新築され、その跡にシルバー人材センターが移転した。
- ・国及び市の補助金と請負費用の8%相当の事務費が運営財源。
- ・取り扱う業務は、庭木の剪定、草刈り、木工、筆耕、障子の張替え、ろうそくの製作、しめ縄づくり、書道教室への講師派遣など、多岐に渡る。
- ・敷地内の駐車スペースは10台分程度。満車の際は、近隣の職員駐車場に誘導している。

シルバー人材センター祖父江支所

- ・元々は県農業改良普及所だった建物を祖父江町が譲り受け、改装したもの。
- ・年間借地料 1,434千円



22

シルバー人材センター（2）

見直し案

- ・本所については、現行のまま存置する。
- ・祖父江支所については、借地の解消を図る観点から、廃止後の丸甲保育園に**移転**する方向で検討する。



- ・借地の解消により、年間**140万円**の行革効果を生み出すことが可能となる。



23

兒童福祉施設



24

保育園



25

奥田保育園

現状と課題

- ・昭和51年建設。耐震性有り。現定員は120人。延長及び障害児保育を実施。
- ・職員数は、正規7名、臨時2名、計9名。
- ・平成18年度に、外壁の塗り直しなどのリニューアル工事を実施している。
- ・近隣の児童数の減少により、慢性的に定員割れが続いている。

見直し案

- ・乳幼児数の減少を見据え、保育園を**統合**する方向で検討する。
- ・現施設については、ひまわり園を**移転**して園舎を活用していく方向で検討する。



26

丸甲保育園

現状と課題

- ・昭和44年建設。耐震診断未実施。現定員は80人。乳児保育を実施。
- ・職員数は、正規4名、臨時3名、計7名。
- ・近隣の児童数の減少により、慢性的に定員割れが続いている。
- ・年間借地料 4千円

見直し案

- ・乳幼児数の減少を見据え、保育園を**統合**する方向で検討する。
- ・現施設については、シルバー人材センター祖父江支所を**移転**して園舎を活用していく方向で検討する。



27

ひまわり園



28

ひまわり園

現状と課題

- 発達に障害の疑いのある就園前の児童を対象に、発達支援を行う施設。昭和60年建設。耐震性有り。職員数は、正規3名、臨時3名、計6名。
- 施設の定員は20人。保健センターやこども発達支援室から紹介されて来園するケースが多い。24年4月は22名の登録者だったが、9月現在は30名まで増加しており、日々の利用の人数調整を余儀なくされている。
- 指導員が手遊びなどを通して、「見る」、「話を聞く」、「指示を聞く」、「指示に従う」など、児童個人の発達段階に応じた計画を立てて支援している。
- 駐車場が8台分しかないので、足りないときは近隣の公共施設の駐車場を利用している。
- 年間借地料 32千円



見直し案

- 利用者の増加によって施設が手狭になっていることから、廃止後の奥田保育園に**移転**する方向で検討する。
- 移転に併せて、現行の母子通園に加え、3歳以上の児童を対象にした単独通園施設の**併設**を検討する。



29

文化施設



30

市民会館

現状と課題

- ・平成7年建設。大中小3つのホールと会議室を備えた文化施設。市外からの来客や利用も多い。耐震性有り。稲沢市公共施設管理協会に指定管理委託。
- ・大ホール4割、中ホール6割、小ホール7割の稼働率。土日はすべて予約で埋まる。各ホールともゆったり座れるように席数を減らして造られており、来場者の評価が高い。
- ・舞台設備の更新などで、今後10億円弱の整備費用がかかる見通し。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



31

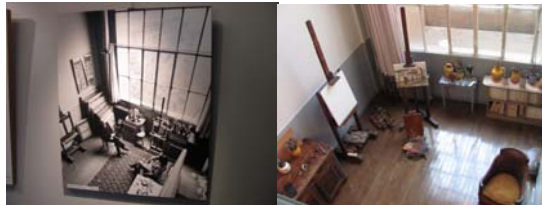
荻須記念美術館

現状と課題

- ・昭和58年建設。平成8年にアトリエ復元施設を増築。耐震性有り。
- ・職員数は、正規4名、臨時2名、計6名。
- ・展示室の一部を年間200日ほど市民に開放しているが、申し込みの多い月は抽選を行っている状況。市民の自主活動が、来館者のアップにつながっている。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



32

祖父江町郷土資料館

現状と課題

- ・旧祖父江町役場の建物を昭和62年に改修し、資料館としている。
- ・祖父江町勤労青少年ホーム職員が施設を管理。耐震診断未実施。
- ・来館者は年間200人程度で、秋に開催する特別展に集中。
- ・年間借地料 1,179千円

見直し案

- ・祖父江町郷土資料館、旧中部電力稲沢営業所など、市内に点在する文化財の保管場所を廃止後の公共施設に集約し、「資料館」として整備する方向で検討する。
- ・祖父江町郷土資料館を廃止し、上記の資料館に機能を移管する。



- ・借地の解消により、年間**120万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



33

文化財収蔵庫

現状と課題

- 昭和58年建設。専門の宮大工が設計した高床式の建物で、床下から外気を取り入れ、天井から排気する自然換気方式を採用。除湿機のみで、空調設備はない。
- 民俗資料などの防虫のため、年1回薫蒸処理を行っている。
- 尾張国分寺跡の出土品が大量に運び込まれている。



見直し案

- 現行のまま存置する。



34

図書館



35

中央図書館

現状と課題

- ・平成18年に総合文化センター内から移転新築。耐震性有り。
- ・職員数は、正規7名、臨時6名、計13名。外に窓口業務を民間事業者
に委託している。
- ・学習室の利用が多く、学生の試験期間中は満席になることが多い。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



36

祖父江の森図書館

現状と課題

- ・平成6年建設。耐震性有り。
- ・職員数は正規4名、臨時7名、計11名。
- ・館内での閲覧を楽しむ高齢者の利用が多く、貸出利用者が全体に占める割合は4割に止まる。
- ・100人が入れる規模の視聴覚室があるが、利用は月1回程度に止まっている。

見直し案

- ・平和町図書館の蔵書を移管するとともに、地域の文化・歴史資料を充実させ、図書館の魅力を高めていく。
- ・視聴覚室を展示室に改装し、市民が美術作品等を展示できるスペースとして開放する。



37

平和町図書館

現状と課題

- ・昭和61年建設。耐震性有り。職員数は、正規3名、臨時5名、計8名。
- ・建物の2階を図書館が占めるが、1階部分は旧平和町保健センターで、現在は空きスペースになっている。
- ・コミック本と女性向け雑誌の充実に力を入れている。
- ・年間借地料 3,798千円

見直し案

- ・建物の2階にあってエレベーターがないことなどを勧告し、蔵書を祖父江の森図書館に**移管**するとともに、公民館図書室という形で一部の機能を平和町農村環境改善センターに**移管**する方向で検討する。



- ・人件費、施設管理費の削減により、年間**3,600万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



38

公民館図書室

現状と課題

- ・旧稲沢市の公民館7か所に設置。
- ・市内3図書館の貸出しや返却のサービスポイントとしての利用者数は年間600人から2,100人に上るが、公民館図書室の図書の貸出しはわずかに止まっている。

見直し案

- ・図書室の蔵書の貸出しがわずかであることを勧告し、蔵書数を削減していくとともに、閲覧や学習用のスペースを確保していく。



39

生涯学習施設



40

勤労福祉会館

現状と課題

- ・昭和53年建設。耐震改修工事実施済み。開館当初は結婚式場としての機能も有していた。
- ・稲沢市公共施設管理協会に指定管理委託。隣接の総合体育館と内部でつながっており、両方を一体で管理している。
- ・会議室及びホールの稼働率は4割程度。市関係の公的利用が多い。
- ・宿泊室が6室あり、稼働率は5割弱。ビジネス目的の固定客が大半を占める。

見直し案

- ・宿泊部門については、①類似の民間施設が市内にあること、②市外のビジネス利用客が大半を占めていることから、**廃止**の方向で検討する。



- ・人件費等の削減により、年間**630万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



41

稲沢勤労青少年ホーム

現状と課題

- ・昭和46年建設。耐震診断未実施。隣接の勤労青少年体育センターと一括して民間事業者へ指定管理委託。
- ・会議室等の稼働率は2割程度。
- ・設置目的の「勤労青少年」の定義付けが、時代の変化と共に薄れている。地域の公民館と差異はないため、利用者が減少している。

見直し案

- ・雇用形態やライフスタイルが変化し、勤労者に利用を特化した施設の意義が薄れていることを勘案し、施設を**廃止**した上で、勤労福祉会館に機能を移管する。



- ・管理費の削減により、年間**1,300万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



42

平和町農村環境改善センター

現状と課題

- ・昭和59年建設。耐震性有り。民間企業へ指定管理委託。
- ・平和地区の「公民館」としての位置付け。会議室等の稼働率は3割強。
- ・年間借地料 1,718千円

見直し案

- ・平和支所をセンターに**移転**し、「平和市民センター・平和公民館」に**名称変更**する。
- ・平和町図書館を、公民館図書室としてセンターに**機能移転**する。
- ・平和支所内にある土地改良部門の事務室とポンプ場及び排水機場の遠方監視システムも、併せてセンター内に移設する。



43

スポーツ施設



44

総合体育館

現状と課題

- ・昭和53年建設。耐震改修済み。市教委スポーツ課が入居。
- ・稲沢市公共施設管理協会に指定管理委託。隣接の勤労福祉会館と内部でつながっており、両方を一体で管理している。
- ・アリーナの稼働率は5割程度。
- ・トレーニング室に併設してサウナ室がある。利用者はほとんどいないが、終日電気を付けた状態になっている。

見直し案

- ・サウナ室については、利用頻度が少ないことと安全性の観点から、利用を**停止**する方向で検討する。



45

勤労青少年体育センター

現状と課題

- ・昭和46年建設。体育館、武道館、弓道場を備えた施設。隣接の稲沢勤労青少年ホームと一括して民間企業に指定管理委託。耐震診断未実施。
- ・体育センター全体の稼働率は7割程度で、個人の利用が多い。

見直し案

- ・雇用形態やライフスタイルが変化し、勤労者に利用を特化した施設の意義が薄れていることを勘案し、体育館を**廃止**した上で、総合体育館に機能を移管する。
- ・武道館と弓道場については、市内に代替機能がないため、存置する。



46

祖父江町体育館

現状と課題

- ・昭和56年建設。祖父江総合センターとして、祖父江老人福祉センターいちょう館、祖父江あじさい児童館、会議室を併設。アリーナの稼働率は8割強。
- ・NPO法人祖父江地区体育振興会連絡協議会に指定管理委託。NPOは、祖父江町体育館を中心に総合型地域スポーツクラブを展開している。
- ・耐震改修未実施。改修費用は概算で2億円かかる見込み。
- ・空調の配管に亀裂が見られ、設備は限界に近い。個別空調に切り替える必要があるが、工事費用は概算で1億円かかる見込み。
- ・トレーニング室があるが、祖父江の森に同種の施設があるため機器は古いまま更新されておらず、利用者は少ない。

見直し案

- ・耐震改修と空調設備の更新を実施した上で、施設を存置する。
- ・トレーニング室を**廃止**し、祖父江の森温水プールに機能を移管する。



47

平和町体育館

現状と課題

- ・昭和56年建設。アリーナの稼働率は8割強。
- ・NPO法人平和地区体育振興会連絡協議会に指定管理委託。
- ・耐震改修未実施。改修費用は概算で1億円かかる見込み。
- ・年間借地料 6,186千円

見直し案

- ・耐震改修を実施した上で、新設の「平和小学校(仮称)」の体育館と併用する形で存置する。



48

祖父江の森テニスコート

現状と課題

- ・温水プール、テニスコート、多目的運動場を一体的に備えたスポーツ施設。プール、テニスコートは平成10年、運動場は平成16年に建設。耐震性有り。ナイター照明設備有り。民間事業者指定管理委託。
- ・テニスコートはオムニコートで人気が高いが、4面しかないため、平日夕方過ぎと土日の利用は予約で満杯状態になっている。

見直し案

- ・祖父江の森テニスコートを**増設**し、市民テニスコートの機能を**移転**する方向で検討する。



49

祖父江の森多目的運動場

現状と課題

- ・平成16年建設。観客スタンド及びナイター照明設備有り。耐震性有り。民間事業者指定管理委託。
- ・多目的運動場はサッカーやグラウンドゴルフでの利用が多い。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



50

市民球場

現状と課題

- ・昭和60年建設。耐震性有り。ナイター照明設備有り。
- ・隣接の市民テニスコートと一括して、民間事業者指定管理委託。
- ・平日の利用は少ないが、土日は利用がほぼ埋まっている。ナイター利用は3割弱の稼働率。
- ・慢性的に駐車場が不足しており、駐車場が満車になることがしばしばある。
- ・小正地区にあった旧市役所庁舎の一部を移築し、倉庫として活用している。

見直し案

- ・隣接の市民テニスコートを祖父江の森テニスコートに**移設**し、駐車場を拡張する方向で検討する。



51

市民テニスコート

現状と課題

- ・昭和54年建設。クレークコート5面。
- ・隣接の市民球場と一括して、民間事業者に指定管理委託。
- ・平日は3割程度の稼働率だが、土日は利用がほぼ埋まっている。
- ・慢性的に駐車場が不足しており、駐車場が満車になることがしばしばある。

見直し案

- ・市民テニスコートを祖父江の森テニスコートに**移設**し、駐車場を拡張する方向で検討する。



52

福島野球場

現状と課題

- ・昭和60年建設。耐震性有り。ナイター照明設備有り。軟式野球1面、ソフトボールの場合は2面分の球技場。
- ・民間事業者に指定管理委託。
- ・ソフトボールの利用が大半を占める。平日の利用は少ないが、土日は利用がほぼ埋まっている。ナイター利用は3割弱の稼働率。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



53

陸上競技場

現状と課題

- 平成2年建設。400メートルトラック、芝生のフィールド、観戦スタンドを有する本格的な競技場。日本陸連の公認は取得していない。
- 民間事業者に指定管理委託。
- 団体利用は、中学生の陸上競技大会、サッカー大会、シティマラソン、ランニング教室などのイベントや、サッカー、陸上競技の練習などで利用されている。個人利用もできるが、利用者は少ない。
- 平成23年にトラックの土を入れ替えて再整備したところ。



見直し案

- 現行のまま存置する。



54

平和町須ヶ谷グラウンド

現状と課題

- 平成12年建設。県下水道科学館に隣接。硬式または軟式野球1面、ソフトボールの場合は2面分のグラウンド。
- NPO法人平和地区体育振興会連絡協議会に指定管理委託。
- 硬式野球またはソフトボールで利用されている。平日の利用は少ないが、土日は利用がほぼ埋まっている。
- 年間借地料 2,276千円

見直し案

- 現行のまま存置する。



55

平和町六輪グランド・六輪テニスコート

現状と課題

- ・昭和59年建設。軟式野球1面、ソフトボールの場合は2面分のグランドと、テニスのハードコート2面を備えている。
- ・NPO法人平和地区体育振興会連絡協議会に指定管理委託。
- ・平日の利用は少ないが、土日は利用がほぼ埋まっている。
- ・スポーツ少年団の利用が多いが、野球の打球がフェンスを飛び越えることがしばしばある。
- ・年間借地料 2,031千円

見直し案

- ・現行のまま存置する。



56

西島運動広場

現状と課題

- ・平成12年建設。サッカー1面、ソフトボールの場合は2面分のグランド。
- ・サッカーの利用が多くを占める。平日の利用は少ないが、土日は利用がほぼ埋まっている。

見直し案

- ・夜間照明設備を備えた人工芝の多目的競技場として**再整備**し、ソニーHCのオリンピック選手との交流の場としても活用していく方向で検討する。



57

中学校



58

稲沢中学校・学校開放センター

現状と課題

- ・昭和52年建設。平成5年に校舎を5階建てに更新。
- ・運動場にナイター照明設備有り。
- ・体育施設開放の拠点となる学校開放センターを併設しているが、月2回程度の利用に止まっている。
- ・年間借地料 32,901千円

見直し案

- ・学校開放センターについては、利用が少ないことから、施設を**廃止**し、スポーツ課に機能を移管する。現施設については、中学校のクラブ活動施設として活用する。
- ・運動場のナイター照明設備については、設備が老朽化し、3千万円程度の更新費用を要することから、利用を停止し、新たに整備する西島運動広場に機能を移管する方向で検討する。



59

大里中学校

現状と課題

- ・昭和37年建設。その後順次増改築。
- ・37年建設の北校舎に、地盤沈下している箇所がある。
- ・運動場にナイター照明設備有り。
- ・年間借地料 19,942千円

見直し案

- ・運動場のナイター照明設備については、設備が老朽化し、3千万円程度の更新費用を要することから、利用を停止し、新たに整備する西島運動広場に機能を移管する方向で検討する。



60

祖父江中学校

現状と課題

- ・昭和43年建設。その後順次増改築。
- ・運動場にナイター照明設備有り。
- ・体育館が2階建てで、標準より広い。アリーナの外周通路がジョギングコースになっている。

見直し案

- ・運動場のナイター照明設備については、設備が老朽化し、3千万円程度の更新費用を要することから、利用を停止し、祖父江の森多目的運動広場に機能を移管する方向で検討する。



61

平和中学校

現状と課題

- ・平成16年に全面建替え。市内の小中学校で唯一、全館に空調設備が整っている。運動場にナイター照明設備有り。
- ・年間借地料 13,360千円

見直し案

- ・運動場のナイター照明設備については、設備が老朽化し、3千万円程度の更新費用を要することから、利用を停止し、祖父江の森多目的運動広場に機能を移管する方向で検討する。



62

学校教育施設



63

セミナーハウス

現状と課題

- ・昭和59年建設。耐震性有り。元は中学校の課外体験用の宿泊施設だったが、利用がなくなったために休止し、不登校児童のための適応支援施設「明日花」として活用している。
- ・小中学校の登校日に合わせて、10名前後の児童生徒が通学している。

見直し案

- ・現行のまま存置する。



64

市営住宅



65

祖父江町住宅森上団地

現状と課題

- ・昭和29年建設。耐震性なし。
- ・6世帯が入居。うち1世帯は近いうちに退去する予定。月額家賃は1,500円から2,700円。
- ・年間借地料 742千円

見直し案

- ・建築後50年以上経過し、地震等で倒壊するおそれがあるため、施設を**廃止**し、入居者に転居をお願いしていく。



- ・借地の解消により、年間**70万円**の行革効果を生み出すことが可能になる。



66

祖父江引揚住宅

現状と課題

- ・戦争の引揚者用の住宅として昭和27年に建設。耐震診断未実施。
- ・4世帯が入居。月額家賃は平均2,000円。

見直し案

- ・建築後50年以上経過し、地震等で倒壊するおそれがあるため、施設を**廃止**し、入居者に転居をお願いしていく。



67

第6回
公共施設のあり方検討委員会
—明日のいなざわが輝くために—



平成24年10月4日
稲 沢 市



68